

令和8年度第1回川崎市中央卸売市場開設運営協議会 会議録

1 開催日時 令和8年5月19日(火) 午前10時00分から午前10時50分まで

2 開催場所 川崎市中央卸売市場北部市場管理事務所棟2階 大会議室

3 出席者

(委員)

- 渡辺 達朗 (専修大学商学部 教授)  
池田 真志 (拓殖大学商学部 教授)  
折笠 俊輔 (公益財団法人流通経済研究所 事業・研究統括 常務理事 主席研究員)  
赤石 英俊 (東一川崎中央青果株式会社 常務取締役)  
保坂 朋宏 (川崎市北部市場水産仲卸協同組合 理事長)  
名古屋 学 (川崎市中央卸売北部市場商業協同組合 副理事長)  
中山 敏夫 (セレサ川崎農業協同組合代表理事 常務理事)  
橋本 明美 (川崎市地域女性連絡協議会 副会長)  
田村 二三夫 (川崎市全町内会連合会 理事)  
緒方 裕治 (川崎商工会議所 議員)  
原 靖英 (神奈川県環境農政局農水産部農政課長)

(幹事)

- 松川 哲司 (川崎市経済労働局担当理事・中央卸売市場北部市場長)

(書記)

- 相澤 俊介 (川崎市経済労働局中央卸売市場北部市場担当課長〔北部市場調整〕)  
竹村 普 (川崎市経済労働局中央卸売市場北部市場担当課長〔市場整備〕)  
川口 愛 (川崎市経済労働局中央卸売市場北部市場業務課長)

4 議事

- (1) 令和7年北部市場各部門取扱の概要について  
(2) 川崎市卸売市場新経営プランの進行管理について  
(3) 川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業の進捗状況について

5 その他

- 報道関係者 0名  
傍聴人 0名  
公開有無 公開

## 6 審議結果（要約）

司会：相澤書記

### 【開会】

（午前10時00分）

資料確認、初参加委員紹介、会議成立（委員総数11名中11名出席）

新任の市職員紹介

会議公開（傍聴及び会議録による）、会議録作成方式（要約による）を確認

松川幹事による挨拶

### 【会長及び副会長の紹介】

会長挨拶

### 【議事】

渡辺会長 「（1）令和7年北部市場各部門取扱の概要について」、市から説明を。

川口書記 （資料1を説明）

渡辺会長 市の説明に対して、御意見、御質問はあるか。

（各委員、発言なし）

渡辺会長 御意見、御質問がないようであれば次の議題に移る。

「（2）川崎市卸売市場新経営プランの進行管理について」、市から説明を。

相澤書記 （資料2を説明）

渡辺会長 市の説明に対して、御意見、御質問はあるか。

折笠委員 進捗の進行管理をして、PDCAを回していくことは重要な取り組みであると思う。一点、基本指標の数値について、目標を定めるわけではないが増加率を見ていくとの話であるが、資料1では当年の実績値しか掲載されておらず、何パーセントの増減があったなどの前年比があると進捗を見るうえで比較しやすいため、表に1列追加するなどして載せてもらいたい。

相澤書記 御指摘のとおりだと思うので、次回から改善するようにする。

名古屋委員 一般の方から北部市場を見ると青果、水産、花きだけがあるように思われるかもしれないが、実際にはその他に雑貨や米、精肉などを扱う関連事業者が60社以上ある。しかしこの資料にはそのデータがまるで載っておらず関連事業者がないかのよ

うに扱われているし、そのように受け取られかねない資料構成になっているので、関連の情報も入れていくなど、市には配慮いただきたい。

相澤書記 関連商品売場棟は北部市場の真ん中に位置し、関連事業者の皆様には市場運営に寄与していただいていると認識しているので、御指摘の内容については市でも協議してしっかり対応してまいりたい。

渡辺会長 数値的な目標だけでなく、関連事業者がどのようなことをやっているかを分かるようにし、住民向けサービスだとか場内事業者向けの対応だとかの目標をクリアできたかどうかという取り扱いもあって良いのではないかと感じた。協議体など取組はいつからスタートなのか。

相澤書記 現時点では、6月を目途に内容を固めて取組を進めて行き、中間フォローをしながら、年度末にまとめて評価、報告をしたいと考えている。

渡辺会長 承知した。他に何か御意見、御質問はあるか。

(各委員、発言なし)

渡辺会長 進捗管理については、事業者も含めて皆さんで勉強しながら進めてもらえればと思う。御意見、御質問がないようであれば次の議題に移る。  
「(3) 川崎市中央卸売市場北部市場機能更新事業の進捗状況について」、市から説明を。

相澤書記 (資料3を説明)

渡辺会長 市の説明に対して、御意見、御質問はあるか。

田村委員 資料の1ページ目に「④ 市民に親しまれる市場化の推進」と書かれているが、具体的にはどんな取組を考えているのか。

相澤書記 今も既に実施しているものもあるが、市民の方からすると近寄りづらいという卸売市場のイメージを改善するために市場のお祭りなどを開催するとともに、食の安全や食育などに関する取組を、各部門の場内事業者と一体となって行うことで、市民に親しまれる市場化を進めて行くものである。

田村委員 承知した。我々もなかなか市場に入ることがないので、どんなものかと思い質問した。もう一点、災害時の支援物資拠点とはどういうことか。

- 相澤書記 北部市場は、国からの広域的な緊急支援物資が一旦集まる場所の候補として指定されていて、市内でもこれだけの敷地面積を有する施設はなかなかないので、施設の特性も活かしながら県と連携していく。その一方で、卸売市場は食料品の供給でも重要な機能も担っており、地域の小売店に食料品が並ばないこともまたパニックを引き起こしかねないので、そこをうまく両立させることを機能更新では対応していきたいと考えている。
- 原委員 事業契約時期が2回に渡って変更となったということだが、工事など整備後の供用開始に影響はないのか。
- 相澤書記 計1年の遅れは、整備スケジュールでも一定の影響があるものと考えているが、契約も含めて今まさに協議をしているところでもあるので、様々な観点から検討してまいりたい。
- 池田副会長 落札事業者との協議をしている最中とのことだが、当初の企画提案書を変更するような協議をしているのか。それとも、企画提案書を実現するためにどうするかという協議をしているのか。
- 相澤書記 今回の機能更新事業は入札で行っているおり、提出された企画提案書をベースとして協議を進めているが、その中で物価高騰などへの対応の必要が出てきている。企画提案書の内容をどこまで当初のままにするのかという話については、今後契約ができた後の設計の段階で、場内事業者の御意見も取り入れながら、事業を進めて行きたいと考えている。
- 緒方委員 確認だが、再整備後に食肉の市場を設置して、精肉の販売などは考えていないのか。
- 相澤書記 確かに卸売市場によっては食肉部門を設置しているところもあるが、北部市場には食肉部門はなく、関連部門に食肉を扱っている事業者があるかたちとなっている。新経営プランの中でも、新たな部門の設置は考えていない。
- 緒方委員 食材を取り扱う側からすると、魚、肉、野菜が一か所に集まっている方が利便性が良いので、企画することがあれば考えていただきたい。
- 相澤書記 買う側からすれば全部揃っている方が利便性が良いということは理解できる。現在も関連事業者が、利便性向上への対応ということもあって精肉店が入っている状況であるが、卸売市場の発展のためには、場内事業者や買出人の方の様々な御意見も聞きながら、対応していきたいと思う。
- 渡辺会長 他に何か御意見、御質問はあるか。

(各委員、発言なし)

渡辺会長        ないようであれば、議事（3）はこれで終了とする。  
最後に全体を通じて御意見、御質問はあるか。

(各委員、発言なし)

渡辺会長        それでは、本日の議事を終了する。ここで進行を市にお返しする。

**【閉会】**

相澤書記により閉会を宣言（午前10時50分）